**平成29年度北上市インターナショナル・スクール運営事業　実績**

目的　　北上市の将来を担う青少年等の外国語によるコミュニケーション能力を強化するとともに、地域の国際交流・国際理解への熱意が醸成されることを目的とする。

主催　　北上市、一般社団法人　北上市国際交流協会

共催　　北上市教育委員会

協力　　岩手大学教育学部英語科

**フォローアップ事業**

■「おもてなしキッズ」「おもてなしサポーター」

平成29年4月22日（土）23日（日）の2日間、平成28年度にイングリッシュ・パーク/イングリッシュ・スクエアの修了生たちが、学習した英会話を生かす場として国内外から多くの観光客が訪れる北上の桜の名所「展勝地」で「おもてなしキッズ」「おもてなしサポーター」として活動しました。気軽に外国人観光客に声をかけるきっかけとして出身国を尋ね、世界地図上にシールでマークしていただきました。また、展勝地の桜に関するクイズを3問出し、正解した方には（一社）北上市国際交流協会のオリジナル缶バッジをプレゼントしました。アジア各国をはじめ、欧米、オーストラリアなどの遠方からの観光客と英語を使い交流できたことに参加者たちは喜びと意欲を感じる機会となりました。

2日間で200個用意した缶バッジが全てなくなったことにより、参加した「おもてなしキッズ」20名、「おもてなしサポーター」3名が、少なくとも200名の外国人観光客にインタビューしたことと、人数を把握する一助となりました。また、「おもてなしキッズ」の保護者たちも子どもたちの生き生きとした活躍ぶりをうれしそうに眺めていました。

**インターナショナル・スクール運営事業**

**イングリッシュ・パーク　/　イングリッシュ・スクエア**

■開催日　**(全20回)**

H29. 6月　　3日、10日、17日

H29. 7月　　1日、15日、29日

H29. 8月　　19日、26日

H29. 9月　　2日、9日、＊16日(イングリッシュ・スクエアのみ開講)

H29.11月　　11日、18日

H29.12月　　2日、9日、16日

H30. 1月　　13日、20日

H30. 2月　　2日、10日、＊17日(イングリッシュ・パークのみ開講)

■参加者　小学校４年生　　　26名

　　　　　小学校5年生　　　27名

　　　　　小学校6年生　　　11名

　　　　　中学生　　　　　　4名

　　　　　高校生　　　　　　3名

　　　　　大人　　　　　　　17名　 合計　88名

■時間割

イングリッシュ・パーク

土曜日　　10:00～11:00　初めてクラス4年生

　　　　　　　　　11:30～12:30　初めてクラス5年生

14:00～15:00　おもてなしキッズクラス（受講歴のある5・6年生）

イングリッシュ・スクエア

土曜日　　16:00～17:30　一般　　※中学生・高校生は16時～17時の1時間

■講座内容

イングリッシュ・パーク

　平成27年度に第一回目の本事業開設のために、岩手大学教育学部英語科教授　山崎友子先生と准教授　ジェームズ・ホール先生のご協力によりカリキュラムを作成していただきました。それは文部科学省の「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」のCEFR(Common European Framework of Reference for Language:ヨーロッパ言語共通参照枠)をもとに、北上市内小・中学校の英語教育担当教師から実態の聞き取り調査を行い、その結果、岩手大学で北上版モジュール構成によるカリキュラムを作っていただきました。

平成29年度は、このカリキュラムと平成28年度の事業の成果と反省をもとに、担当の講師（北上市教育委員会所属ALT,　ロナルド・リオーネⅡ先生とケビン・プライス先生）がカリキュラムを作成。昨年の成果にならい、それぞれのモジュールの最後のクラスではテーマごとに何か「成果物」が出来るようになるというゴールが設定されています。（学習内容は学年やクラスにより、同じモジュールでも多少難易度に違いがあります）

今年度初めての試みとして、「おもてなしキッズクラス」では、名詞の前につく冠詞「a/ an」について学習しました（一例： an apple / a pen）。母音で始まる名詞の単数形の前には「aｎ」が、子音で始まる名詞の単数形の前には「a」がつくことを学びましたが、そのモジュールの最後の授業では別室で講師がクイズ形式の個別テストを実施し、各児童がどの程度理解しているかを確認しました。指導方法や児童の理解度をふまえて、次年度に生かしたいと考えています。

また今年度は、児童自身が各回の授業の終わりに、「Great!! / Good! / OK」からいずれかを選択する形で自己評価を行いました。前年度までは担当講師が児童を評価する形でしたが、子どもたちは自分自身を評価するということを新鮮に感じながら、その日の学習内容や自身の学ぶ姿勢などを振り返り評価に反映させました。

【初めてクラス　4年生・5年生】

1. モジュール1　「食べ物と飲み物」
	* 1. →　自作の英語メニューを作り、レストランの注文ができる
2. モジュール2　「スポーツと楽器」
	* 1. →　スポーツ・楽器に関する単語と「できる/できない」の表現練習
3. モジュール3　「家族の紹介」
	* 1. →家族のメンバーの「できること」を紹介するポスターを作成
4. モジュール4　「私の街を紹介」
	* 1. →　北上市のお気に入りの場所をポスターにして紹介
		2. →　お気に入りの場所で「できること」「買えるもの」を紹介
5. モジュール５　「スペースシップバトル」「復習と確認」
	* 1. →宇宙船を操作する表現を学ぶ
		2. →宇宙船バトルで英語を使ってチーム戦
		3. これまでに学習したことを、ゲームをしながら復習・確認

□クッキング　　「グリルドチーズサンドイッチ」

1. →　材料や調理器具などクッキングのための単語練習。調理工程を確認
2. →　実際に調理室でグリルドチーズサンドイッチを作ってみる

【おもてなしキッズクラス】

1.モジュール1　「アルファベットと冠詞」

1. →　アルファベットの読み方、書き方
2. →　名詞の前につくa/an（冠詞）について

2.モジュール2　「アルファベットと発音」

①→　アルファベットの発音（フォニックス）

②→　母音・子音の発音

3.モジュール3　「人物の紹介」

①→家族のメンバーの「できること」を紹介するポスターを作成

4.モジュール4　「買い物」

* + 1. →　北上市のお気に入りの場所をポスターにして紹介
		2. →　お気に入りの場所で「できること」「買えるもの」を紹介

5.モジュール５　「復習と確認」

①　→　これまでに学習したことを、ゲームをしながら復習・確認

□クッキング　　「ホットドッグ」「グリルドチーズサンドイッチ」

1. →　材料や調理器具などクッキングのための単語練習。調理工程を確認
2. →　実際に調理室で作ってみる

イングリッシュ・スクエア

平成29年度は対象枠を拡大し、一般の方に加え、過去に本事業の講座を受講したことのある中学生・高校生も対象としたところ、合計26名の申込みがありました。また、2020年度からの「小学5年生からの英語教科化」に向けて、市内の小中学校教諭に案内を配布したところ、4名の先生方の申込みがありました。レッスンは各講師が本事業のテーマに沿って指導内容を起案し、趣向を凝らした英会話やゲーム、クッキングなど多彩な活動を行い、実際に英語で考えて行動する場としました。さまざまな国の担当講師（北上市教育委員会所属のALTサヤ・ヤエガシ先生、ランディ・ハウザー先生、市内高校のALTマクレイ・マーティン・ダグラス先生、ミーシャ・ブラウン先生、元ALTのチャド・ルイス先生、岩手大学のリム・フエキ・ラリビ先生）から英会話や各国の文化を学ぶ良い機会となりました。

■講師

このプログラムを進行するにあたり、下記の北上市教育委員会所属の外国人英語指導助手（ALT）をはじめ、市内高校のALT、英会話講師、岩手大学院研究員など大勢のみなさまにご協力いただきました。また、アシスタントには岩手大学教育学部英語科所属の学生のみなさまや、長年に渡り英語教育に尽力されていた元小学校教諭の菊池直子様にもご協力いただきました。みなさま方に深く感謝いたします。

講師名　(順不同)

ロナルド・レオーネⅡ　　 北上市教育委員会　ALT

ケビン・プライス　　　　　　　 　 〃

サヤ・ヤエガシ(八重樫　明)　　　 〃

ランディ・ハウザー　　　　　　　 〃

マクレイ・マーティン・ダグラス　　専修大学北上高校　ALT

チャド・ルイス　　　　　　　　　　元北上市教育委員会　ALT

ミーシャ・ブラウン　　　　　　　　県立黒沢尻北高校　ALT

リム・フエキ・ラリビ　　　　　　　岩手大学大学院　農学部研究員

アシスタント

宇部瑞穂、中島美穂、村上凛、岩淵舜、川上恵、北村ちひろ・・・岩手大学教育学部

菊池直子・・・元小学校教諭

　スタッフ　　(一社)北上市国際交流協会

　薄衣景子、斎藤理加、髙橋早咲恵、髙橋柳子、土谷彩佳

北上市担当課　　まちづくり部　　生涯学習文化課